

## 10月16日：大型株が売られVN指数の上げ幅が縮小

昨日は後場に大型株への売り圧力が強まり、VN指数は前日と同水準にとどまった。

ホーチミン市場のVN指数は0.14%上昇し、994.46ポイントで引けた。

出来高は1億88百万株で、売買代金は3.6兆ドン（1億54百万米ドル）となった。

水曜日、同指数は0.05%下落し993.05ポイントで引けていた。

火曜日のアメリカ市場が堅調だったことで、水曜日の午前中は明るい見通しがベトナム市場にも広がっていた。

ニューヨークではダウ平均株価が237.44ドル（0.89%）高の27,024.8ドルで引けた。

S&P500指数は29.53ポイント（1%）高の2,995.68ポイント、NASDAQは100.06ポイント（1.24%）高の8,148.71ポイントと堅調だった。

後場に入ると、売りが増えVN指数の上昇トレンドは減速した。

サイゴンハノイ証券（SHS）によると、VN指数は心理的な節目である1,000ポイントに近づいて、投資家に警戒感が広まったとのことである。

売り圧力はVIC(-0.3%)、BID(-0.6%)、SAB(-0.3%)、VJC(-0.4%)、MSN(-0.8%)など大型株に波及した。

PNJはVN30銘柄の中では堅調で、2%上昇し出来高も直近1か月で最大水準だった。

FLCファロス建設（ROS）は3日連続で7%の上限値幅に到達し、出来高も3,000万株を超えた。

他の大型株では、VNM(+1.6%)、VCB(+1.1%)、POW(+2.7%)、CTG(+0.9%)、TCB(+0.8%)などが堅調だった。

セクター別では、小売、農業、食品・飲料、海産物加工、建設資材などが下落した。

反対に、ロジスティックス、卸売、保険、石油・ガス、銀行、ヘルスケア、ITなどが上昇した。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.07 下落し 105.93 ポイントで引けた。

出来高は 29 百万株、売買代金は 2,770 億ドンとなった。

同取引所では、VCS(-2.3%)、VNR(-5.8%)、PGS(-2.9%)、PVS(-0.5%)などが下落し、HNX 指数は 2 日続落した。

同指数は火曜日 0.03% 下落し 106.01 ポイントとなっていた。

バオベト証券 (BVSC)によると、今週残りの取引日も安定な状況が続くと見ている。

「VN 指数は 990-998 ポイントで推移すると予測している。第 3 四半期決算の結果によって、銘柄・セクターが広く選別されるだろう」と BVSC はデイリーレポートで述べている。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。